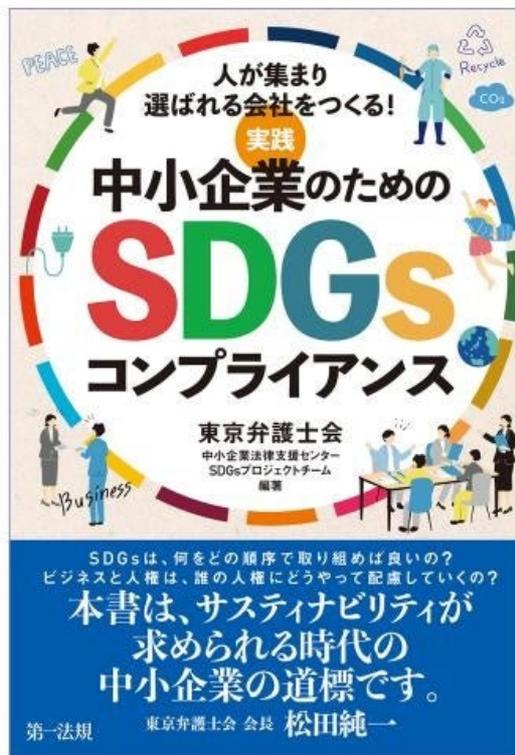


【新刊】『～人が集まり選ばれる会社をつくる！～実践 中小企業のためのSDGsコンプライアンス』発売！

中小企業の経営者必見！サステナブル経営が求められる時代、人が集まり人に選ばれ、もっと伸びる会社となるための指南書！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）は『～人が集まり選ばれる会社をつくる！～実践 中小企業のためのSDGsコンプライアンス』を2024年1月31日に発売しました。



商品紹介ページはこちらから

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104828.html?utm_source=prtimes

amazonでの購入はこちら

<https://amzn.asia/d/c5DLd6v>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17718297/>

3月7日に出版記念セミナー開催決定！詳細・お申込はこちらから

https://www.daiichihoki.co.jp/seminar/homu/2401-030/index.html?utm_source=prtimes

■発売の背景

サステナブルな経営が求められる時代、長期的かつ持続的に企業価値を高める経営をするには、短期

的な利益を追求するのではなく、企業としてSDGsや「ビジネスと人権」にも取り組むことが必須となります。対応をおろそかにするとステークホルダーや社会からの信頼失墜など、甚大な損失を被りかねません。けれども中小企業の中には、これらは会社経営上直接的な効果がなかなか見えないので、その活動が企業の成長や発展に繋がることの意味や、コンプライアンスとSDGs、「ビジネスと人権」の枠組みの関係性が難しく、それぞれに対応する「体制づくりができない」、「何から手を付ければよいかわからない」、といったお悩みを持つ方が多くいらっしゃいます。

当社では上記のような課題を持つ中小企業の経営者向けに、企業がSDGsに取り組むことの重要性和、コンプライアンス活動との結びつきについて解説。SDGsコンプライアンスで、中小企業が抱える、ハラスメントや長時間労働といった、普遍的な業務課題の取組み方法や実践方法がわかる『～人が集まり選ばれる会社をつくる！～実践 中小企業のためのSDGsコンプライアンス』を発売しました。

■商品の特徴

- 社会的な要請である「コンプライアンス」、「SDGs」、「ビジネスと人権」の3つの枠組みについての関係性を理解できる！
- 東京弁護士会 中小企業法律支援センター SDGsプロジェクト・チームのこれまでの活動で得た知見や事例を踏まえた解説だから、リアルでわかりやすい！
- 中小企業の課題に照らした「ビジネスと人権」への対応に関するチェックリストで自社の実施状況や対処ポイントが確認できる！
- SDGsコンプライアンスへの取組みについて具体的な事例・方法を知ることができ、経営に役立つカタチで実践に移せる！
- 人が集まり人に選ばれ、持続可能な形で成長していける企業となるための経営体制づくりを学べる！

中小企業が「人が集まり選ばれる」会社になるには

Chapter 1

1 地球と人類のサステナビリティに貢献する

中小企業庁の「2023年版中小企業白書・小規模事業者白書の概要」（以下「中小企業白書」）は、足下の新型コロナや物価高騰、深刻な人手不足など、中小企業・小規模事業者は、引き続き厳しい状況にあると指摘した上、競合他社が提供できない価値の創出により、価格決定力を持ち、持続的に利益を生み出す企業へ成長を遂げる事が重要であると指摘しています。

中小企業の経営環境はますます厳しさを増していますから、中小企業経営者からすれば、「中小企業白書は、価格決定力を持って持続的に利益を生み出せて簡単というけど、一体、どうやったらいいんだ！」と言いたくなるかもしれません。

この点について、世界最大の資産運用会社であるブラックロックのラリー・フィンク氏がCEOとして2018年に発表した年次レターが1つの答えを示しています。彼はその中で、「上場、非上場を問わず、企業には社会的な義務を果たすことが求められています。企業が継続的に発展していくためには、すべての企業は、優れた業績のみならず、社会に即ち貢献していくかを示さなければなりません。企業が株主、従業員、顧客、地域社会を含め、すべてのステークホルダーに恩恵をもたらす存在であることが、社会からの要請として高まっているのです」と述べています。これは言葉を変えていけば、単なる利益追求を超えて、企業を取り巻くステークホル

1 中小企業が「人が集まり選ばれる」会社になるには

ダーの課題を解決し、地球や人類のサステナビリティ（持続可能性）に貢献する企業が発展し、成功を収めるということを意味しています。今の時代では、中小企業を含むすべての企業が「人が集まり選ばれる」会社として発展していくためには、地球と人類のサステナビリティに貢献していくことが不可欠なのです。

2 なぜ中小企業もサステナビリティへの取組みが必要なのか

私たちは、20世紀初頭から大量生産、大量消費、大量廃棄のサイクルを展開してきました。このサイクルは、人類に富をもたらし、生活の質を大幅に向上させました。20世紀型の資本主義は私たちの社会を飛躍的に発展させた輝かしい側面を有していたことは事実です。しかし、他方では地球の資源を過剰に消費し、環境問題を発生させ、また、弱者に対する人権侵害も引き起こしてきたという負の側面も有していました。

大量の化石燃料の消費は、温室効果ガスの排出を増加させ、地球温暖化を引き起こしました。それが著しい気候変動をもたらし、洪水や干ばつ、海面上昇などを発生させています。オーストラリアでは2019年9月以降に長期間にわたる大規模な森林火災が発生しましたが、これは気候変動による異常な乾燥と高温が原因とされています。

企業のグローバル化に伴って、開発途上国に安価な労働力を求めてサプライチェーン網が築かれました。そこでは児童労働や強制労働が行われていた事例が多数発生しています。2013年4月にバングラデシュのダッカ近郊でラナ・プラザという建物が崩壊し、1,132人が死亡、さらに2,500人以上が負傷するという惨事が発生しました。この建物には複数の縫製工

☑ 従業員の人権に関するチェックリスト

従業員に係る人権に対する負の影響を発見し、是正するプロセスを確実に実施するためのツールの1つとして、以下のチェックリストをぜひ活用ください。

あるべき姿	チェック項目
法令遵守事項	
【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別をなくし、平等な労働環境を整えている	<input type="checkbox"/> 国籍、性別、年齢、信条、社会的身分、障がいの有無などによる差別を行っていないか <input type="checkbox"/> 雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる場面で、差別しない体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 外国人技能実習生を含め、外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っているか <input type="checkbox"/> ジェンダー平等について、無意識の偏見を払拭することを含め、適切な対策を行っているか
【賃金の支払】 ・従業員に適切な賃金を支払っている	<input type="checkbox"/> 従業員に対して、賃金を滞りなく、直接、全額を、毎月1回以上、一定の期日を定めて支払っているか <input type="checkbox"/> 時間外労働、休日労働、深夜労働に対し、適切な割増賃金を支払っているか <input type="checkbox"/> 同一労働に対して同一の賃金を支払っているか
【労働時間】 ・過度な長時間労働を防止し、適切な労働時間を確保している	<input type="checkbox"/> 労働時間は、1日8時間および週40時間以内とし、毎週1回以上の休日を設けているか <input type="checkbox"/> 上記を超える場合は、36協定を締結しているか <input type="checkbox"/> 時間外労働の上限を月45時間、年360時間以内としているか <input type="checkbox"/> 臨時的な特別な事情がある場合（特別条項）について法律上の要件を充足しているか <input type="checkbox"/> 年次有給休暇は適切に付与しているか

【従業員の妊娠・出産介護等への配慮】 ・従業員が妊娠・出産や、育児・介護に伴い、適切な対応がとられている	<input type="checkbox"/> 従業員の妊娠・出産や育児・介護の必要がある場合、保健指導等のための時間の確保や、休業など適切な制度を定めて対応しているか
【ハラスメント禁止】 ・パワハラ、セクハラ、マタハラ等を防止し、ハラスメントのない職場環境を整えている	<input type="checkbox"/> ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しているか <input type="checkbox"/> ハラスメント研修の実施など、ハラスメントを防止するための適切な措置を講じているか <input type="checkbox"/> ハラスメント相談窓口の設置し、相談者のプライバシーに配慮しつつ適切な対応が行われているか
【労働安全衛生】 ・職場における従業員の安全と健康およびメンタルヘルスを確保し、快適な職場環境を整えている	<input type="checkbox"/> 医師による健康診断、ストレスチェック、長時間労働者に対する医師による面接指導等、法令に定められた事項を実施しているか <input type="checkbox"/> 作業環境の改善、作業方法の改善、疲労回復施設・設備の設置等、法令に定められた職場環境の整備を行っているか <input type="checkbox"/> 安全衛生に関する規定が就業規則に定められているか <input type="checkbox"/> 社員向けの労働安全衛生講習会の実施、社内ホームページ等を活用した周知徹底が行われているか
【労働災害】 ・従業員が労働災害に遭った場合に、適切な措置がなされている	<input type="checkbox"/> 従業員が労働災害に遭った際には、その労働形態のいかんを問わず、労働災害保険法に基づいて、療養補償、休業補償、障害補償、遺族補償等適切な措置がとられているか
【解雇等】 ・解雇・配置転換・雇止めの際には、法律の要件を遵守して行っている	<input type="checkbox"/> 解雇や配置転換をする際には、正当な理由を十分検討の上で行っているか <input type="checkbox"/> 解雇の際には解雇予告手当の支払など法律上の要件を履践しているか <input type="checkbox"/> 雇止めの際には、更新の回数や雇用期間を勘案して、実質的に期間の定めのない雇用契約と同様の状況になっていないかを検討しているか

110

111

■目次（抜粋）

第1編 総論

第1章 中小企業が「人が集まり選ばれる」会社になるには

第2章 中小企業が取り組むべきSDGs

第3章 中小企業が取り組むべきビジネスと人権

第4章 人権方針とパーパスを策定する

第5章 SDGsコンプライアンスに取り組む

第2編 各論

【SDGsコンプライアンス】

第6章 中小企業と従業員の人権

<SDGsイノベーション>

第13章 SDGsでさらなるイノベーションを起こす

■商品概要

『～人が集まり選ばれる会社をつくる！～実践 中小企業のためのSDGsコンプライアンス』

著者：東京弁護士会中小企業法律支援センターSDGsプロジェクト・チーム 編著

価格：定価3,080円（本体2,800円＋税10%）

ページ数：328頁

判型：A5判

～執筆陣登壇！出版記念セミナー開催決定！！～

本書の出版を記念して、3月7日（木）にセミナーを開催いたします。

東京弁護士会 中小企業法律支援センターSDGsプロジェクト・チームから、座長である湊信明弁護士をはじめ、5名の弁護士が登壇！講義とパネルディスカッション、質疑応答のパートを設け、中小企業の経営者のみなさまが人と社会に貢献する企業となるための”気づき”と”実践に移すための手法”を得られるセミナーを開催いたします。

～開催概要～

開催日時：2024年3月7日（木）14：00～16：10

開催団体：第一法規株式会社、東京弁護士会の共催セミナー

開催形式：ハイブリット（リアル会場は第一法規株式会社 本社、オンラインはZoomでのご参加となります。）

受講料：無料

出版記念セミナーの詳細・お申込はこちらから

https://www.daiichihoki.co.jp/seminar/homu/2401-030/index.html?utm_source=prt看imes

商品紹介ページはこちらから

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104828.html?utm_source=prt看imes

amazonでの購入はこちら

<https://amzn.asia/d/c5DLd6v>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17718297/>

発売元：第一法規株式会社

当プレスリリースURL

<https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000658.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prt看imes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

第一法規株式会社

販売促進第四部

co_support@daiichihoki.com